

合格体験記

岐阜県 小学校

【一次試験】

- 筆記試験（一般教養・教職教養・小学校全科）
- グループ面接（実技試験を含む）

【二次試験】

1 日目

- 適性検査
- 論文
- 適性検査
- 実技試験（図工・体育・音楽）

2 日目

- 個人面接（教職関係、民間企業、事務面接の3種）
- 泳力検査
- 模擬授業
- 集団討論

【一次試験】

- 筆記試験
一般教養・教職教養から20問。専門（小学校全科）から10問。計30問を60分で解答。マークシート式。学習指導要領からの出題が多かったです。教職教養は教育法規、教育心理からの出題が目立ちました。教職教養の配点が高いと噂があったので、きちんと押さえて勉強しました。一般教養は範囲が広く、難易度が高いものが多かったです。
- グループ面接
面接は面接官3人、受験者は6人1グループで45分。（私のグループは1人欠席で5人でした。）また、この45分中に実技試験も入ります。
< 質問 >
 - 受験番号、名前、教師という職の魅力を簡潔に。
 - 個性を認める教育が叫ばれますが、あなた自身のよさは何ですか？簡潔に。
 - あなたが感化を受けた人は？具体的に話してください。
 - 差別をなくすために"かけっこで手をつないでゴールをします。"このことに賛成ですか反対ですか。立場を明らかにして話してください。
 - なぜ小学校を希望しましたか？
 - 奉仕活動の意義は何だと思いますか？経験のある人はそのことを踏まえて簡潔に。
 - 奉仕活動を学校で行うと強制になりませんか。それについてどう思いますか？

<実技試験>

カードとメモ用紙が配布されます。カードに書かれた設定で帰りの会で2分話す内容を1分で考えます。

(内容)

3年生の担任で1週間後に音楽会を控えています。クラスの子どもが次の内容の日記を書いてきました。このことを帰りの会で取り上げて話してください。「私はリコーダーの“ラとソ”の音がうまく出せません。Yさんが教えてくれるので少しずつ上手になったけど、本番が嫌です。」

45分という短い時間で6人も面接を行うので、「簡潔に」答えることが求められました。番号の早い人から答えたり、挙手で答えたり様々でした。かけっこ論争は挙手性で、全員が反対派になってしまいました。同じようなことを話す方もみえました。私は1番最後にあたり、他の受験者と違う視点(足の遅い子どもの視点)で話しました。感情移入しすぎて、涙ぐんでしまったことが反省点です。私のグループでは私以外の受験者は講師の方ばかりで自信を持って話されていました。堂々と自信を持って答えることが大切だと感じました。

一次試験は1日で行うため、受験番号が遅い人は面接時間が4時ごろになります。筆記試験は11時に終わるので、それまでの意識の持ち方が大変になると思います。会場は暑く、控え室も決して快適とはいえないので、暑さ対策をするといいと思います。

【二次試験】

1日目

- 適性検査

クレペリン検査でした。

- 論文

800字、40分です。

課題：現代における教育課題を3つ挙げ、そのうちの一つについてあなたが教員になったら、どのように解決していくかを具体的に述べなさい。

*以下構成のみです

序論：

教育課題 完全週五日制における休日の活用方法、 保護者や地域の方々との信頼関係づくり、「豊かな心」の育成

特に は非行の低年齢化などからも重要な問題である。「豊かな心」育成について以下の実

践を行う。

本論：

「豊かな心」とは人と関わりあう中で相手を大切に、受け止めることができる心のことである。

- ・このことを児童の実態に合わせて分かりやすい言葉で学級目標にいれ、一年を通してこだわっていく。そのような姿を価値付けし、学級全体へ広めていく。
- ・聞く姿勢を大切に。他者の意見を踏まえて発言できた児童やうなずきながら聞いていた児童の姿の価値付けする。また、教師が児童の話をよく聞くことで、人の話を聞くことの大切さを児童に示していく。

結論：

以上のことを学級経営を行う上で重視していく。ただ、「豊かな心」は学級経営のみで育成されるものではない。休日を利用して自然体験をしたり、保護者や地域の方々と一緒に児童を育てたりすることで「豊かな心」を育成していく。また私自身が多くの方と関わりあうことで、自らの人間性を磨き続けていく努力を惜しまない。

練習で「5分で構成、30分で書き上げ、5分で見直し」に慣れていたので書ききることができました。自分の言葉で書くことの難しさを知りました。

• 適性検査

MMPⅠでした。質問が非常に多くで大変でした。マークで解答していくのですが、私はマーク記入が苦手なので時間はぎりぎりまでかかりました。似たような質問がところどころにあるので、自分の気持ちに正直に答えていくことが大切だと思います。「はい」、「いいえ」、「どちらでもない」の3択ですが、「どちらでもない」は10以内にしなければなりません。もし時間内に終わらなかった場合は、10分の延長が認められます。

• 実技試験

<図工>

課題：手をモチーフに「優しさ」を表しなさい。

時間は45分。画用紙はB4です。始めに画用紙とメモ用紙が配られ、試験官の方から説明がありました。

- ・画用紙の右下に受験番号を枠で囲って書くこと。（多くの方が定規を使って枠を書きました。）
- ・デッサンに「手」以外のものを書き込むのは自由。

- 採点基準はあくまで「手」のデッサン。（いかに「手」の量感が出ているか。影のつけ方、線の重なりはどうか。）

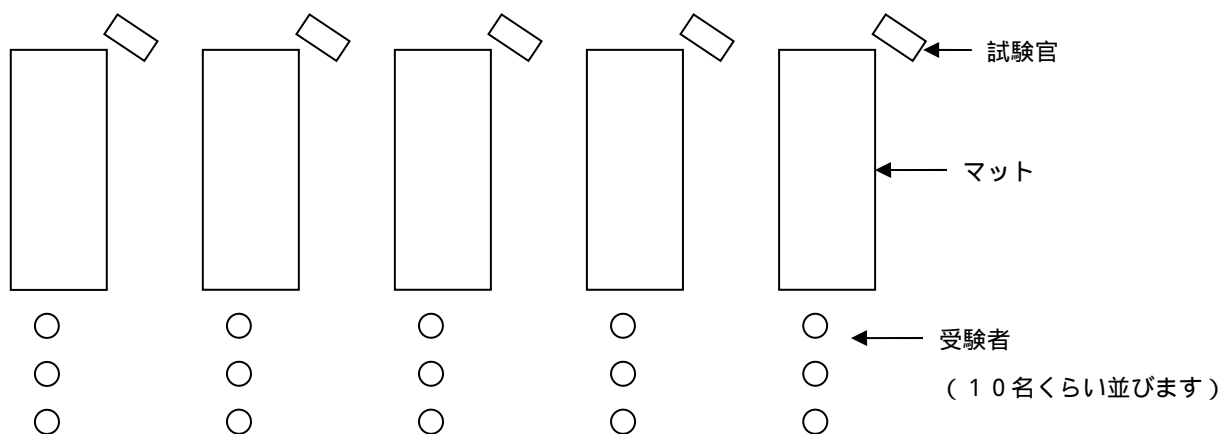
私は自分の手と小さい子どもの手を書きました。右手を描きたかったのですが、左手を見ながらしか描くことができなかつたので難しくなつてしまいました。練習ではA4の紙を使用していたので、本番で大きく書くことが難しかったです。45分は短く感じました。

< 体育 >

課題：マット運動

倒立、開脚前転、後転の3種目

まず、試験官の方から説明があります。その後、全員で準備体操があつて、15分間練習をして良いといわれます。1つのマットに10名くらい並ぶので練習は2~3回できます。本番では倒立のみ、やり直しが可能です。その際は、試験官にその旨を申し出る必要があります。私はマット運動が苦手なのですが、成功率の低かつた開脚前転が成功したので良かったです。伊奈波中学校のマットは厚みがあつてやりやすかつたです。（倒立は2回とも静止が出来ず、失敗しました。）番号を呼ばれたら大きな声で挨拶をして見える方がいて良いなあと思ひました。ゼッケンがしわしわの人や紙の人がいましたが、私は快く思ひませんでした。



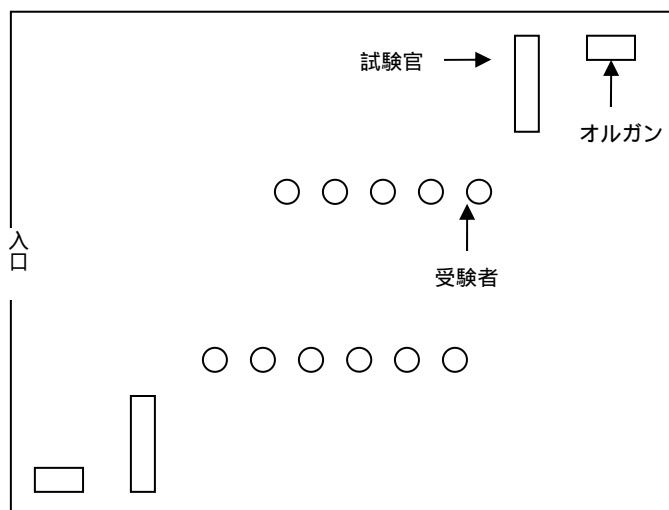
< 音楽 >

課題：「まきばの朝」（「冬げしき」か「まきばの朝」でどちらか1曲指定されます。）

始めに受験者全員で説明を聞きます。（このときに曲の指定がされます。）

- ・子どもが前にいるつもりで。
- ・途中で止まらないように。
- ・始めに電子オルガンの音量を確認してから演奏すること。

柔道場と剣道場の2ヶ所で行いました。私は柔道場でしたが、オルガンが2台ありました。他の受験者のオルガンの音に気をとられてしまい、自分の演奏が止まってしまいました。伴奏を途中から入ろうとしても手が震えてうまくできませんでした。それでも、歌だけは大きな声で止まらずに歌うことができました。笑顔を忘れないことも大切だと思いました。



2日目

朝、体育館に集合して一日の流れ、各試験内容等の説明を受けます。また、ここで調査用紙の記入があります。内容は事務面接で使用するものです。個人面接は1時間の中で、面接X、面接x、事務面接の3つを受けなくてはならないので、効率よく回れるようにグループで話し合うように、と言われました。

- ・ 面接X（教育関係者）：面接官2名、時間10分

<質問>

- ・ （「緊張をほぐすために答えやすい質問から。」と言われてから）あなたの長所と短所は？
長所は誠実さ、短所はひとりで物事を抱え込みがちである、と答えました。
- ・ 教室でガムを食べたり、飴を舐めたりする児童にどのように対応するか。
教室は公共の場であり、ルールがある。そのことを児童に伝えていく。
- ・ その児童に話しかけても「うるせえ。」「センコー。」と言ってきたらどうするか。
そのように話す児童には気にかけてほしいという思いがあると思う。じっくり児童の話聞いて信頼関係を作り、社会規範を粘り強く教えていく。
- ・ 教育実習でこれから目指したいと思えるような教師に出会えたか。
小学校の実習で配属になった担任の先生の話をしました。
- ・ その教師のどのようなことをこれから教師になったときに実践していきたいか。
「なかまのしあわせのために」を自己犠牲として捉えるのではなく、積極的に他者と関わりあっていく姿勢だ、ということを取り入れたいと答えました。
- ・ そう感じた体験談を話してください。

教育実習の特別活動の実習での具体的な児童の姿を話しました。

- ・ 今、教師になったときを想定して不安だと感じることは何か。簡潔に。
保護者との関わり方、と答えました。
- ・ そのことを詳しく話してください。
新任の教師であることが保護者の方に不安を与えないか、自分の教育観を一生懸命説明しても理解してもらえないのではないかと答えました。
- ・ どのように対応していきますか。
何度も保護者の方と話をしていくが、困ったときには学年主任や校長先生に相談して、対応していきたい、と答えました。
- ・ (私の教科が理科なので)「理科離れ」について、そうならないように一番力を入れていきたいのは何か、簡潔に。
魅力ある導入作り、と答えました。

後から考えると、「ここはこうやって答えればよかった。」と後悔しますが、面接中で答えたことは全てその時点での私の姿だから仕方がない、と割り切って次の面接に向かいました。ときどき私の話を頷いて聞いてくださり、さほど緊張せずに答えることができました。

- ・ 面接×(企業の方): 面接官1名、時間10分

<質問>

- ・ (高校が普通科で、ということ踏まえてから)なぜ岐阜大学の教育学部に入ったのか。
将来微生物の研究がしたかったが、農学部には入れなかったため、高校の担任の助言を受けて教育学部の生物科に進学した、と答えました。
- ・ 今は、その目的が十分に果たされているか。
教育学部の先生であっても、他学部には引けをとらない教師ばかりで十分な研究をしている、と答えました。
- ・ 教師になりたいと思ったきっかけは何か。
教育実習で児童と触れ合うことや、共に学びあう楽しさを知ったから、と答えました。
- ・ 卒業研究について
概略を簡単に説明しました。
- ・ 大学でのサークル活動について
高校のOBで参加していて、充実しているというようなことを話しました。
- ・ 困難な問題に当たったとき、どのように乗り越えたか。
共に支えあう仲間たちと話し合い、問題を解決していった、と話しました。
- ・ 自分の好きなところは何か。
誠実さとハキハキしているところだと答えました。

終始、志願書を見て質問を探しながら、という感じでした。時間が迫っていたこともあって、時計を何度も確認されていました。時々、「ああ、そうだね。」と相槌を打ってくださり、話しやすかったです。

- 事務面接：面接官 1 名、時間 5 分

< 質問 >

- 大学の単位は取得できているか。
- 自家用車はあるか。
- 県内ならどこへ勤務しても良いか。
- 一人暮らしは可能か。

調査書を見ながら確認している感じの面接でした。ひとつひとつの質問が柔らかく、「免許の申請を忘れないでね。」と助言までしていただきました。

- 泳力検査

- 25 m をクロール、平泳ぎ、背泳ぎのいずれかで泳ぐ。
- 速さを競うのではなく、フォームを重点的に評価する。
- 力強く、余裕のある泳ぎができているかどうか。

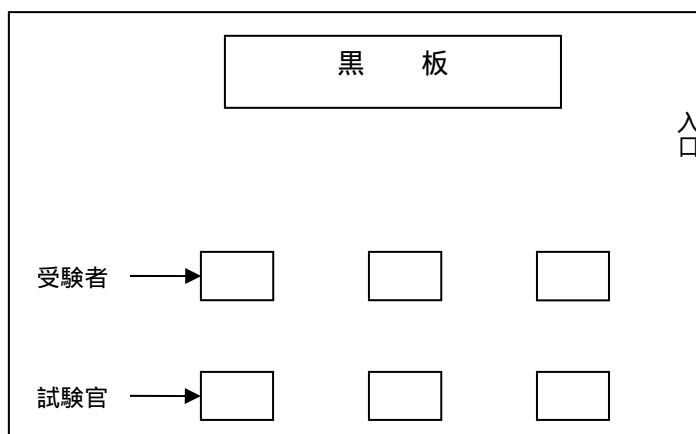
練習で 25 m 泳ぎます。全員が泳ぎ終わったら本番。2 人ずつ飛び込みなしでプールに入り、番号を呼ばれたら手を挙げて返事をします。泳ぎ終わったらバスタオルで手を拭いて受験票を受け取り、各自更衣室へ行きます。

水泳帽が必ず必要です。ゴーグルは自由ですが、多くの方が使ってみえました。女性の方は、中学校のプールを使わせていただくので、化粧は落とすか、控えるべきだと思います。クロールの方が多かったのですが、平泳ぎの方も大勢みえました。(3 : 2 くらいです。) 私はクロールで泳ぎましたが、手首よりもひじを高く上げて泳ぐことを意識しました。25 m はあっという間で、暑い日でしたので気持ちよかったです。

- 模擬授業

始めに受験者全員が教室に入り、説明を受けました。

3 名が教室に入ります。一番の人は課題をすぐもらいます。2 番の人は 3 分後、3 番の人はさらに 3 分後に課題をもらいます。さらに 3 分がたったら一番の人がスピーチをし、4 番目の人が教室に入



り、課題をもらいます。つまり、自分のスピーチの10分前に課題をもらい、3分間スピーチを行うのです。スピーチ後は板書を消して、課題とメモ用紙を試験官に渡して退室です。

課題：「集会係が学級遊びを企画しました。しかし、学級遊びを嫌がり、参加しない児童がいたために学級遊びができなかった。このことにおける問題点を想定し、帰りの会で指導せよ。」(小学校4年生)

* 以下は構成のみです。

<はじめ>

学級遊びで全員が遊んでいなかったことを確認。

<なか>

1. 遊んでいなかった子どもは各自で過ごしていたことを確認。
2. なぜ、学級遊びに参加しなかったのか質問。
(子どもの反応)
 - 毎日学級遊びがあり、図書館にいけない。
 - ドッチボールばかりでやりたくない。
3. 集会係は学級遊びをどのように決めていたのか尋ねる。
多数決で決定していた。
4. 少数派の意見が取り入れられないので問題あり。どのように解決するか児童に問う。
(子どもの反応)
 - アンケートをとる。紙に書くなど。
 - 毎日遊ぶのではなく、自由に過ごす時間もつくる。
5. 集会係にどのように対応するのか尋ねる。
これから班で話し合って決める。
6. 決定したらクラスに報告するように、と話す。

<おわり>

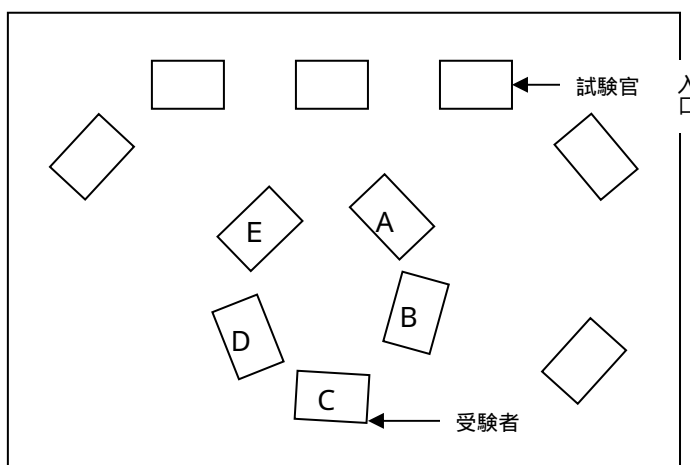
今回の問題点は学級遊びに参加しなかった児童や集会係が自分の都合だけで行動し、相手を思いやれなかったことだと考える。そこで、学級目標である「なかま」を板書し、仲間のことを考えて行動することを大切にしよう、という話をする。

私は時間が足りず、板書したあたりで終わってしまいました。他の受験者の方も時間が足りないようでしたが、時間内に終わらせることは大切だと思います。また試験官の方の説明によると、保護者の方に対してスピーチをするという課題もあるそうです。その場合も板書をしなくてはいけないので、どのようにしたら良いのか考えなくてはいけないと思い

ました。

- 集団討論

5人の受験者で行う。はじめに与えられたテーマについて3分考える。その後、それぞれが1分ずつ自分の考えを話し、50分間討議を行う。試験官は3名。1名はタイムキーパーをしてくださり、各自の意見を話しているとき、1分以上だと途中で切られました。「司会は設けません。」という話を朝の連絡のときにされたので司会はつくらずに討議しました。



。課題：「学校を卒業後、フリーターになる若者が増えている。このことについてどのように思うか。」

昼休みの時に、「終了10分前からはまとめる方向で。」「話題が切れないようにする。」という打ち合わせをしていたので、順調に話し合いが進みました。各自が同じくらいずつ発言をして、お互いに尊重し合えた集団討議になりました。集団討議の終了後、試験官の方が私たちの話し合いをまとめて、講評をしてくださいました。「いい話し合いだったね。」と言っていただけで嬉しかったです。

【最後に】

昼休みの過ごし方もポイントです。一日目の試験日、私は試験が詰まらなかったのでもっと早く休むことができました。控え室にいましたが、音楽実技の曲が聞こえてきたので指使いなどを友達と確認しあいました。控え室は3部屋あり、ざわざわしていない教室でゆっくり気持ちを落ち着けることができました。二日目の昼休みは集団討論に向けてグループで自己紹介をしました。話をすることでお互いの特徴が分かって討論がしやすくなると思います。模擬授業の課題を出し合うなど、意識を高めあうことができ良かったです。

本番では自分の甘い考えを戒めき、静かな気持ちで二次試験を迎えることができました。自分に出せる力は全て出してきたことが良かったのだと思います。ありのままの自分を出しても大丈夫な姿になれるように、日頃から教育書を読み、教育時事に関心を持つことが大切だと感じました。また、立ち姿勢、歩き方などは採点にはなりませんが、試験官に受験者の雰囲気伝えます。日常の自分の生活を改めて振り返るといいと思いました。このサイトでは特に論文対策でお世話になりました。みなさんのご批評があったからこそ採用

試験に合格したのだと思います。これからも本物の教師になるために学んでいきたいと思
います。これからもよろしくお願いします。